

平成 25 年 8 月 31 日 (土)

琉球新報 (2) 2.2%増 1680 億円 普天間整備に 25 億

2.2%増 1680 億円

防衛予算 沖繩関係 普天間整備に 25 億

防衛省の 2014 年度予算概算要求で、沖繩関係経費は 13 年度当初予算比 2.2%増の 1680 億円となった。周辺環境整備費や軍用地の借地料増などが押し上げた。日米両政府が返還に合意している米軍普天間飛行場の整備費として総額 25 億円を要求した。

在日米軍駐留経費負担 (思いやり予算) のうち、
 ①雨水排水施設改修 13 億 6 千 4 百万円
 ②施設整備費は 5.2%増の 45 億 2 千 2 百万円。嘉手納基地など 10 施設 27 事業を実施する。普天間飛行場分の 25 億円が最も多く、内訳は

事 項	2013 年度 予算額	2014 年度 概算要求額	対本年度 増A減額	対本年度 伸率
(項) 防衛施設安定運用関連諸費				
1. 基地周辺対策経費	17206	16934	<271>	<1.6>
住宅防音	6166	6368	202	3.3
周辺環境整備	11039	10511	<528>	<4.8>
2. 補償経費等	98953	100281	1327	1.3
(1) 施設の借料	96567	97994	1427	1.5
土地等の借料	96044	97338	1294	1.3
その他 (道路使用等)	523	656	133	25.4
(2) 漁業補償	866	928	62	7.2
(3) その他の補償等	1521	1358	<163>	<10.7>
小 計	116159	117215	1056	0.9
小 計	115487	118389	2901	2.5
(項) 在日米軍等駐留関連諸費				
1. 基地従業員関係	44527	44694	166	0.4
(5026)		<4254>	<4772>	<15.4>
2. 提供施設の整備	4298	4522	224	5.2
(129)		<406>	<277>	<3.1倍>
3. 提供施設の移設	136	402	265	2.9倍
(49683)		<49353>	<4329>	<10.7>
小 計	48961	49617	656	1.3
小 計	165842	166568	726	0.4
合 計	164448	168006	3557	2.2

注: 1 上段<>内は、契約ベースである。
 2 計数は、四捨五入によっているので符合しないことがある。

千円円②隊舎改修 2 億 7 千万円③給電設備改修 2 億 7 千万円④汚水排水施設改修 1 億 8 千万円①など。キャンプ・ハンセンの倉庫設置費 5 億円も盛り込んだ。

軍用地料は 1.3%増の 973 億 3 千 8 百万円。与那国島の陸上自衛隊部隊配備のための町有地借り上げ料 1 億 5 千万円も含む。

一方、県軍用地等地主会連合会は 14 年度貸借料として 13 年度比 4.2%の 999 億円を要求している。

その他の補償は 13 億 5 千 8 百万円。米軍の旧恩納通信所で発見された PCB (ポリ塩化ビフェニール) の処理が本年度で終了することから、倉庫撤去費用 1 千万円を計上した。

提供施設移設費は 2.9 倍の 4 億円で、宜野湾市の市道 11 号整備に伴う文化財調査費や実施設計などに 2 億 4 千万円を計上した。住宅防音など基地周辺対策費は、9.5%増の 181 億円となった。